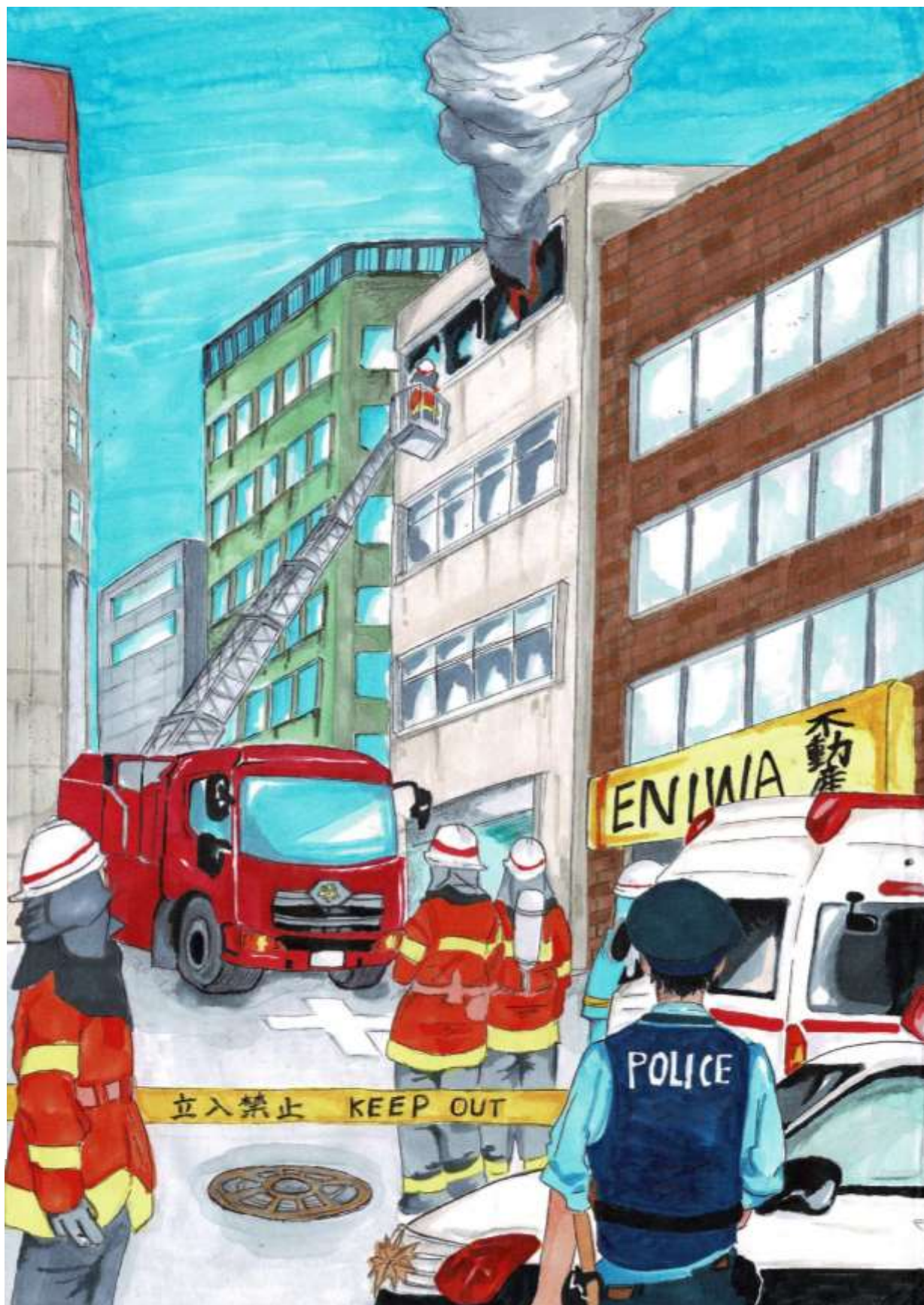


3

地いきの安全を守る

あんぜん

まも



ア 火事の現場



話し合ってみよう

- イラストや写真を見^{しやしん}て、気づいたことや、^{かん}感じたことを発表^{はっぴょう}しよう。
- 見たり聞いたりした^{よう}火事や交通事故の様子^すを発表しよう。
- 火事や交通事故では、^おどのようなことが起^おこるのか、考えて発表しよう。

① 消火活動^{しょうかかつどう}をする人たち

あさひさんたちは、地いきで起^おこった火事や交通事故^{かじ}について話し合^{じこ}いました。



「火事^{げんば}の現場は、ほのおがたくさん出^でていて、とてもきけんだね。どうやって火を消^けすのだろう。」



「事故^{ほか}の現場には、パトカーの他に消防自動車^{しょうぼうじどうしゃ}も来^きているね。どうしてかな。」



「火事や事故^{かっどう}の現場では、たくさんの人たちが活動^{かつどう}しているね。」

あさひさんたちは、自分たちの地いきが、火事や交通事故からどのようにして守^{しら}られているか、調べてみることにしました。

みんなでつくった学習問題^{がくしゅうもんたい}

地いきの安全^{あんぜん}は、だれが、どのように守^{まも}っているのだろう。

1

火事から まちを守る

この時間の問い

まちは、火事からどのように守られているのだろう。

活動

資料を見て、感じたことや考えたことを話し合おう。

消防しよで調べたいことを明らかにして、学習問題をつくろう。



恵庭市で起きた火事の現場

火事について調べよう

あさひさんたちは、まちの中を消防自動車しょうぼうじどうしゃがサイレンを鳴らして走っていたことを思い出しながら、火事について話し合いました。



「火事が起きたのかな。救急車きゅうきゅうしゃも通ったから、けが人が出たのかな。」



「火事は、どうして起きるのだろう。火事をふせぐためには、どうしたらいいのかな。」

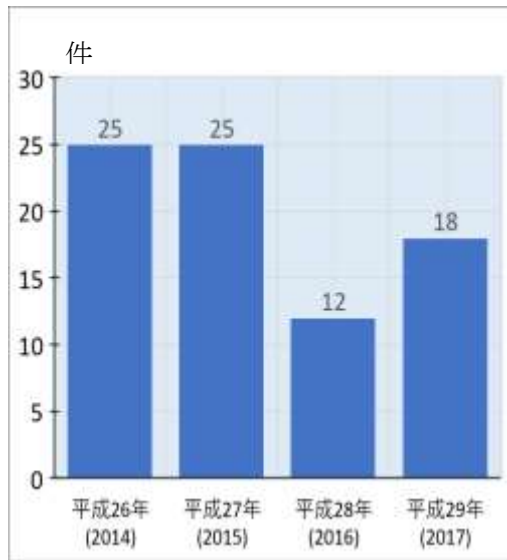
あさひさんたちは、火事の写真しゃしんや恵庭市えにわで起きた火事にかん関するグラフなどを見ながら、感じたことや考えたこと話し合いました。



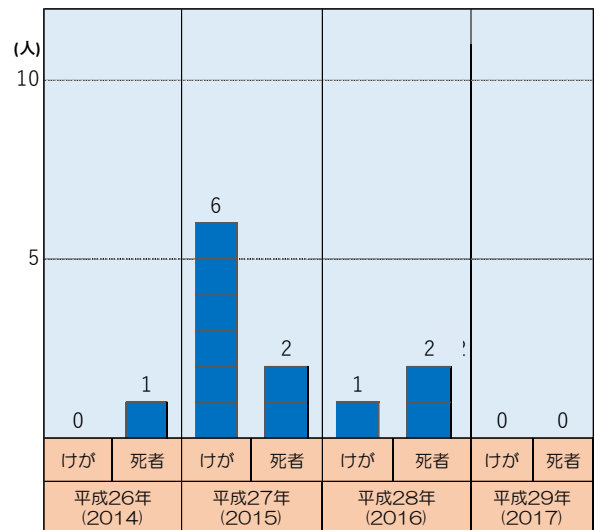
「たてもものから、すごいけむりがあがっているよ。火は早く消し止められたのかな。」



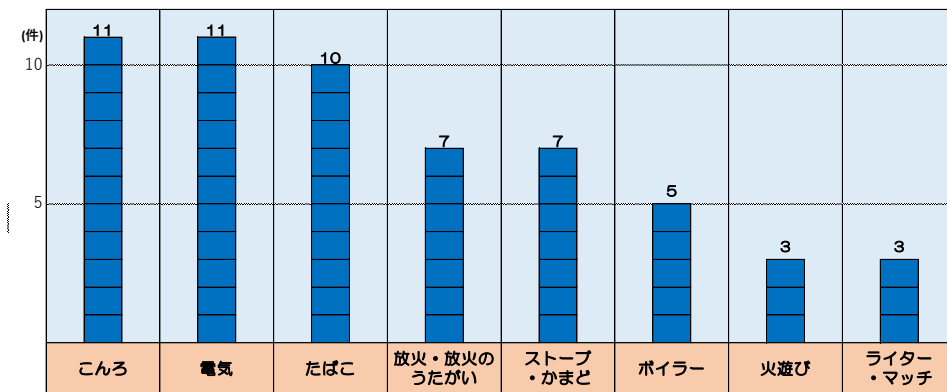
「ぼくたちの学校や地いきを、火事から守るための、くふうはあるのかな。」



ㄱ 恵庭市で起きた火事の件数(恵庭市消防本部)



ㄴ 恵庭市の火事でけがをしたり、なくなったりした人の数(恵庭市消防本部)



ㄷ 恵庭市で起きた火事の主な原因(2014~2017年)
(恵庭市消防本部)

毎年、20件近く火事が起こっていて、なくなっている人もいますよ。
火事には、いろいろな原因があるみたいだね。



みんなでつくった学習問題

学校や地いきは、火事からどのように守られているのだろう。

私たちの学校や地いきは、どのようにして火事から守られているのでしょうか。ふせぐためにはどうすればよいか、起きてしまったらどうすればよいか、自分で予想して書いてみましょう。また、消防しよをたずねて、聞いてみたいことをノートに書いてみましょう。

	火事(予想)
ふせぐためには・・・	
起きてしまったら・・・	

次につなげよう

火事が起きたときに、消防しよは、どのような仕事をするのでしょうか。見学に行ってみよう。

この時間の問い

火事が起きたときに、消防しよはどのような仕事をするのだろう。

活動

119番のしくみを調べよう。

早く出動するためのくふうを調べよう。

早く消火するために、消防しよはどのようなくふうをしているのか。調べよう。

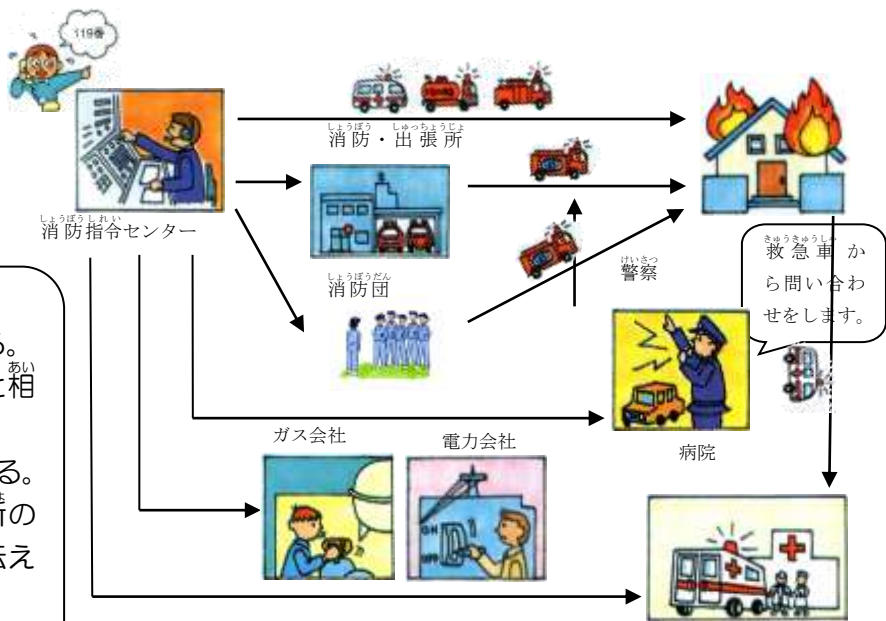
119番への電話のしかた

- ① 落ち着いて119番にかける。
- ② 火事が救急かを、はっきりと相手に伝える。
- ③ 相手の質問に、正かくに答える。
 - ・場所を伝えるときには、住所のほか、自印になるものを伝える。
 - ・今どうなっているのか、だれがどうしたのかを伝える。

消防しよをたずねて①

あさひさんたちは、消防しよをたずねて、どのように出動したり、火事をふせいだりしているのか、調べることにしました。

そこで、調べたいことを話し合い、見学の計画を立てました。



ア 119番のしくみ

消防しよの人の話

119番をかけると、電話は消防指令センターにつながります。119番通報を受けた消防指令センターの画面には、電話をかけた人がいる場所の住所や、周辺の地図をうつし出すことができます。消防指令センターの人は、通報した人から火事か救急かをかくにんして、消防自動車や救急車の向かう場所を決めます。その情報を、火事や事故の現場の近くにある消防しよや出張所にれんらくし、消防自動車や救急車が出動するしくみになっています。

山地をのぞき、火事や事故の現場には、出動から約5分から7分ほどで到着できるようにしています。消防指令センターは、消火や救助の仕事をしやすくするために、地いきの消防団、けいさつ、ガス会社、電力会社などにもれんらくし、災がい現場に行ってもらいます。

大きな火事が起きたときには、どうするのですか。



消防しょの人の話

火事の場所や大きさによって、どんなしゅるいの消防自動車を、何台出動させるのか、前もって決めてあります。火事が広がったときには、火事の現場により近い消防しょや出張所から、おうえんのために出動します。となりまちの千歳市や北広島市とは、大きな火事が起きたときには、おうえんにつけけることを、おたがいに約束しています。



イ 水そうつきポンプ車



ウ はしごつき消防ポンプ車



エ 化学車



オ 消防しょと出張所の位置

いろいろなしゅるいの消防自動車があるんだね。どんなふうにはたらくのかなあ。



キーワード

〇119番のしくみ

次につなげよう

消防しょだけでなく、いろいろなところと協力しながら火事を消しているんだね。消火活動以外の仕事もあるのかな。

この時間の問い

しょうぼう

消防しよをたずねて②

消防しよは、
消火活動以外に、
どのような仕事を
しているのたろ
う。

かつどう 活動

しゅうどう
出動がないときの

消防しよの仕事を
しら
調べよう。

きゅうきゅうたい きゅうじよ
救急隊や救助隊の
仕事を調べよう。

消防しよの仕事をふり
かえ
返り、どのようなくふ
うをしているのか考え
よう。

消防しよの人たちは、火事が起きた時にだけ
仕事をしているのではありません。めぐみさん
たちは、消火のための出動がないときに、どの
ような仕事をしているのか、たずねました。

消防しよの人の話

わたしたちは、いつでも出動ができるように、毎日、
消防自動車や器具の点けんをしています。火事が起きな
いように、いろいろなしせつのけんさにも行きます。

他にも出動がないときには、火事が起きたときにいつ
でも使えるように、消火せんの点けんを行ったり、い
ろいろなくんれんをしたり、市民の方に応急手当のし
どうなどもしています。

人の命にかかわる仕事なので、失敗はゆるされませ
ん。気を引きしめて、くんれんに取り組んでいます。



ア 火災ほうち機のけんさ



イ 消防自動車や器具の点けん



ウ 救急車の器具の点けん



エ 消火せんの点けん

救急隊の人の話

消防しょの救急隊は、119番の知らせを受けると、救急車でかけつけて、急病人やけが人を病院へ運ぶ仕事をしています。病院に着くまでのあいだ、お医者さんとれんらくをとりながら、病人やけが人の手当てをします。人の命にかかわる仕事なので、気を引きしめて、はたらいています。とてもやりがいのある仕事です。



㊦ 救急隊のくんれんの様子

消防しょの人の話

わたしが消防士をめざすきっかけとなったできごとは、東日本大震災でした。助けを求めている人のために、一生けん命にはたらく消防士のすがたをテレビで見て、自分も消防士になりたいと思いました。そのために、勉強や体カトレーニングをたくさんしました。



㊦ 消防士のくんれんの様子



消火活動以外にも、火事が起きないように仕事をしているのね。

人の命にかかわる大切な仕事だね。ふだんのくんれんが、とても大切なことがわかったよ。



	ポンプ車	水そう付き ポンプ車	化学車	きゅう急車	バイク	その他の さぎょう 作業車
恵庭市内の 消防しょ・消防団	4	3	1	4	3	13

(台)

㊦ 消防しょ・消防団が持っている各自動車の台数

消防士の仕事の様子について聞きました。24時間いつでも出動できるように、きんむの仕方にも、いろいろなくふうがされています。

1日のきんむ

きんむ当番表

8:45	引きつぎ
9:30	機械、消防自動車の点検、事務しより、くんれん
12:15	休けい
13:00	消火、救助、救急くんれん
17:15	休けい
18:30	休けい
19:00	くんれん、体力れん成
22:00	交代で仮みん
7:00	起床、清そう、無線点けん
8:45	引きつぎ

	1日目	2日目	3日目	4日目
Aさん	きんむ	非番	きんむ	非番
Bさん	非番	きんむ	非番	きんむ
Cさん	きんむ	非番	きんむ	非番
Dさん	非番	きんむ	非番	きんむ



交代でお休みをとりながら、きんむしているんだね。

毎日くんれんを行って、いろいろな火事や救急に、そなえているんだね。



消防しょの人の話

消防士の仕事は、きけんなことやつらいこともたくさんあります。

ひとりではおずしいことも、仲間と協力して乗り越えていき、助けをもとめている人をすくうこの仕事に、とてもやりがいを感じています。



消防士は、きけんな火事の現場で活動します。炎やけおりから身を守るために、そうびにもいろいろなくふうがされています。

防火服を着た消防士



㊦ 防火服(前)

ヘルメット
頭や顔を守るため、とうめいなシールドが引き出せるようになっている。

空気ボンベ
けむりの中でも活動できるように空気が入っている。

空気マスク
けむりをすわないように、マスクをつけて活動する。

安全たい
救助活動の時に、ロープなどをむすびつけたりする。

防火い
ねつに強く、もえにくい。



㊧ 防火服(後)

キーワード

- 器具の点けん
- くんれん

次につなげよう

消防しょには、たくさんのことがあることがわかりました。では、わたしたちの学校では、火事から守るために、どのようなくふうがされているのかな。

火事を早く消すための消防のくふう

●わかったこと

- ・119番の電話を受けると、すぐに出動するしくみをつくっている。
- ・地いきの消防団、けいさつしょ、電力会社、ガス会社などと協力している。
- ・出動の計画を立てたり、おうえんのやくそくをししたりしている。
- ・消防しせつや消火器具の点けん、くんれんをして火事にそなえている。

●思ったこと

- ・消防しょの人たちは、人の命を救う仕事に一生けん命にはげんでいる。

わたしも、しょうらい、人の命を助けたり、守ったりする仕事をしたい。

あさひさんのノート

この時間の問い

学校には、どこにどんな消防せつびがあるのか調べよう。

かつどう活動

- 学校の消防せつびを調べよう。
- 調べてきたことを図にまとめよう。
- 学校は火事からどのように守られているかを考えよう。



学びのてびき

学校の消防せつびの調べ方

- ① 学校の見取り図を用意する。
- ② 調べる場所をたんにして、消防せつびをさがす。
- ③ 消防せつびを見つけたら、見取り図に書きこむ。
- ④ 見取り図を持ちよって、一つにまとめる。



学校の消防せつび調べ

めぐみさんたちは、学校が火事から、どのように守られているのか、調べることにしました。



ア ねつ感知器(発信)



イ けむり感知器(発信)

○火事を知らせるせつび



エ 火災報知器(発信)



ウ 自動火災報知せつび(受信)

○火事を消すせつび



オ 消火器

○火事がひろがるのをふせぐせつび

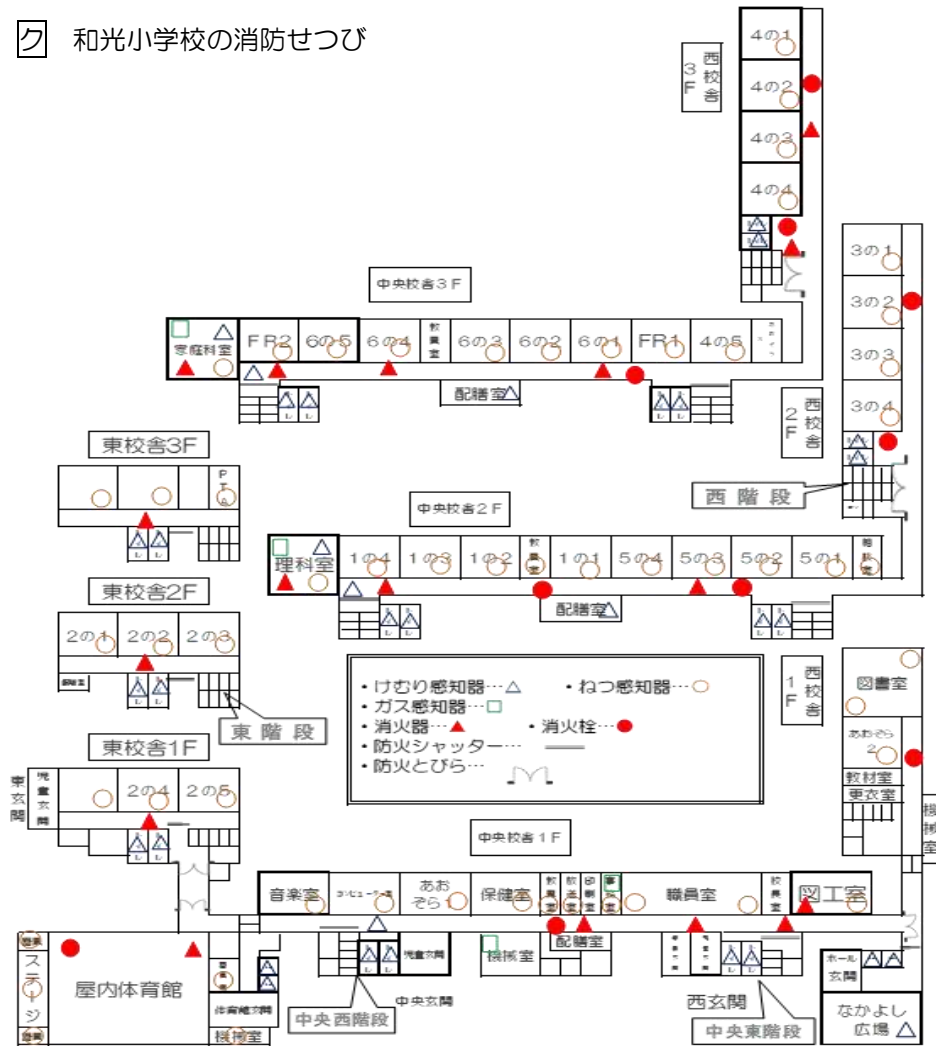


カ 防火とびら



キ 防火シャッター

ク 和光小学校の消防せつび



防火せつびが、
かいだん
階段の近くに
たくさんある
ね。
すべての教室
に、熱感知器が
ねつかんちき
あるよ。



キーワード
しょうぼう
○ 消防せつび
○ 消防計画

先生の話

学校では、火事が起きないように、ふだんから点検したり、もしも火事が起きたときに、児童のみなさんが安全にひなんしたりできるように、消防計画を立てています。消防計画には、ひなんくんれんの計画、ひなんするときのきまり、校内のどこに、どのような消防せつびがあるかなどが書かれています。この消防計画は、消防しょにてい出するきまりになっていて、学校は消防しょと協力して、みなさんの安全を守っています。

学校を火事から守るくふう

● わかったこと

・学校ではその場所にあった消防せつびなどをととのえ、消防計画をつくり、ひなんくんれんを行うなど、火事にそなえてくふうをしている。

● 思ったこと

・学校を火事から守るために、わたしたちの気づかないところで、さまざまなくふうがされていることがわかった。ひなんくんれんにも、もっとしんけんに参加しようと思った。

調べたことを
ノートにまとめよう。

次につなげよう

学校を火事から守るくふうが、たくさんあることが分かりました。では、わたしたちの地いきは、どのようにして守られているのでしょうか。

?この時間の問い

地いきの消防しせつ調べ

わたしたちの地いきは、
火事からどのように
守られているのだろう。

あさひさんたちは、地いきの消防しせつについて調べることにしました。調べたことは地図に書きこみます。

活動

地いきの消防しせつを調べて、しせつのしゅるいや位置を地図に記入しよう。

地いきにある消防団は、どのような活動をしているのか、調べよう。

調べたことを地図にまとめ、わかったことを話し合おう。



ア 消防せつびのある場所



イ 消火せん



しょうか 「消火せんは、まち全体にちらばっているね。」



「大きな通りぞいに多く消火せんがあるね。」



「細い道のところにもあるね。」



ウ 防火水そう

消火せん一つを真ん中にして、まわり120mに水がとどくようにとりつけられているよ。



消防しょの中に消防団があることを，先生から聞きました。あさひさんは，^{いん}団員の人から話をうかがうことにしました。



㊦ 消火くんれん



㊧ 消防団のつめ所^{しよ}



㊨ ^{ほうすい}放水くんれん



㊩ 消防団の礼式^{れいしき}

消防団の団長さんの話

恵庭市には5つの消防団があります。消防団の人たちは，ふだんは自分の仕事^{しごと}をしています。火事^{さい}や災^おいが起きた時に，すぐにかけて作業^{さぎょう}ができるように，くんれんをしています。火事が起ると，消防指令センターからのれんらくで，消防団のつめ所にすぐ^{しゅうごう}に集合^{しゅうごう}し，じゅんぴが整^{ととの}いしだい出動^{しゅつどう}します。

また，大きな地^じしんが起きた時には，火災^{かさい}が発生^{はっせい}し大きな被害^{ひがい}をもたらすことがあります。消防団が持っている手で運べるポンプなどの小型^{こがた}の機器^{きき}は，地しんによって道路^{どうろ}がこわれ，大きな消防自動車^{げんば}が火災現場^{かつかく}にかけつけられない時に活躍^{かつやく}します。

学校を火事から守るくふう

●わかったこと

- ・地いきには，火事にそなえて，たくさんの消火せん，防火水そうがある。
- ・地いきの人たちが参加^{さんか}する消防団は，消防しょと協^{きょうりょく}力して，防火や消火の活動^{かつどう}をしている。

●思ったこと

- ・消防団の人たちは，地いきとわたしたちを，火事から守るためにがんばってくださいている。わたしも，消火器^{しょうかき}で火を消すことができるようになり，地いきを火事から守る活動^{きょうりょく}に協^{きょうりょく}力したい。

調べたことを

ノートにまとめよう。

キーワード

- 消防しせつ^{しょうぼう}
- 消防団^{たんでん}

次につなげよう

今まで学習してきたことを，整理^{せいり}してまとめてみよう。

自分たちの住^すんでいる地いきを，火事から守るために，たくさんの消防しせつや，地いきの人たちの取^とり組みがあることがわかりました。

この時間の問い

キーワードに注目して、
学習を振り返ろう。

活動

これまでに学習したキーワードを思い出し、どんなことを学習してきたか話し合おう。

学習したことや自分で考えてきたことを、ノートにまとめよう。

まず学習問題を
振り返ってから、わかったことや、考えたことをまとめました。



色ペンで大切な言葉をかこんだり、線を引いたりすると見やすくなるね。



学習を振り返ろう

あさひさんは、これまで学習したことを思い出し、ノート見開きにまとめて、話し合いをすることにしました。

2 火事をふせぐ ～まとめ～

学習問題
学校や地域は、火事からどのように守られているのだろう。

119番のしくみ

消防指令センター

火災現場

消防署・出張所
消防団
警察
電力会社など

◎すばやくかけつけるしくみになっている。

◎消火や救助をしやすくするために警察や電力会社などに協力してもらおう。

◎火事の大きさによって出動する消防自動車が決まっている。

◎大きな火事の際には、千歳市や北広島市からおうえんが来る。

ア あさひさんがまとめたノート

まとめよう

消防^{しょうぼう}しょや地いきの^と取り組みから、火事^{かじ}へのそなえとして大切なことや、自分にできることを考えて、まとめましょう。

🔑 キーワード

- | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|--------|
| ○119番のしくみ | ○器具 ^{きぐ} の点検 ^{てん} | ○くんれん |
| ○消防 ^{しょうぼう} せつび | ○消防計画 | ○消防しせつ |
| ○消防団 ^{だん} | ○防災 ^{ぼうさい} 計画 | |

出動がない時
◎消防自動車や器具の点検
◎消火栓の点検
◎くん練
→いつでも火事にそなえている。

学校や地域のしせつ
◎学校には消防計画がある。
・ひなんくん練・ひなんのきまり
・消防せつび

まとめ
◎火事や地震がおきた時への
いろいろなそなえがある。
◎わたしたちは、ふだんから、ひ
なんのしかたなどを話し合っ
ておくことが大切だ。

キーワードにな
み線を引いて、
わかりやすくす
ると見やすい
ね。



キーワードを手
がかりに、学習
してわかったこ
とや、気づいた
ことを、整理し
よう。

これまで考えて
きた、「自分がで
きること」や「自
分の意見^{いけん}」も、
しっかりと書い
ておくことが大
切だよ。

話し合いをふり返りましょう



あなたの考え^{つだ}を伝える
ことができましたか。

ほかの人の考えを、聞き
と取ることができまし
たか。

発表^{はっぴょう}を聞いたあと、あな
たの考えはどうなりまし
たか。



ア 交通事故の現場げんば

2

事故や事件から
まちを守る

事故おが起きたら

「ピーポー！ピーポー！」

しょうぼうじどうしゃ

消防自動車がサイレンを鳴らして走って行きました。交通事故

が起きたようです。パトロールカーが来て事故の様子ようすを調べ
ています。

この時間の問い

わたしたちの市では、
交通事故はどのくらい
起きているのだろう。



「大きな事故だね。けがをした人がいるんじゃないか
な。心配しんぱいだね。」



「けいさつしょの人や消防しょの人がいるよ。何をして
いるのかな。」



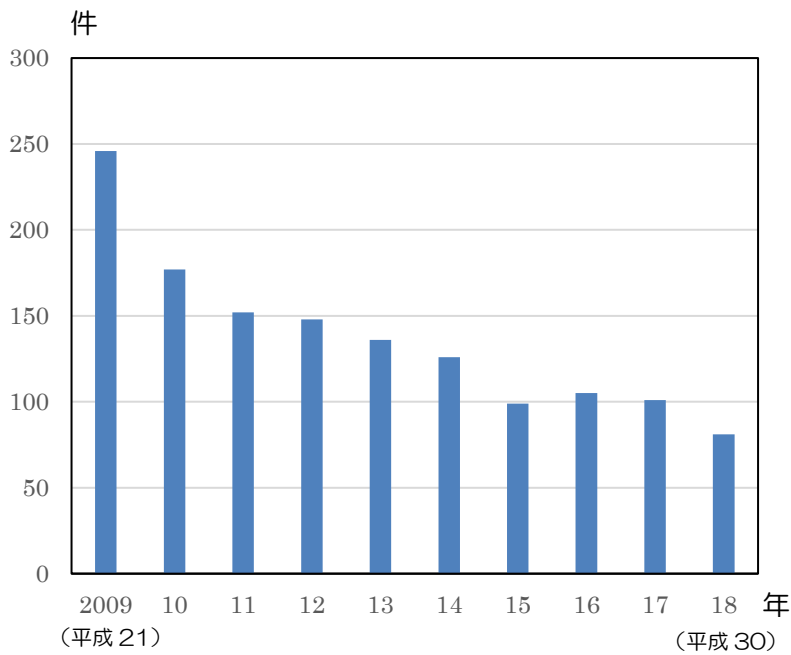
「事故がどのように起きたのか取り調べとをしている
ね。」

かつどう
活動

交通事故の写しゃしん真を見て、
気づいたことを
話し合おう。

交通事故にかん関するグラフを見て、
特とくちょうや変化へんかの仕方しかたを
読み取ろう。

グラフや表ひょうを読み取って、
気づいたことや考えた
ことを話し合おう。



イ 患庭市で起きた交通事故の件数
(千歳けいさつしよ)

けいたさんたちは、^{えにわ}患庭市で起きている交通事故について、グラフから調べてみました。

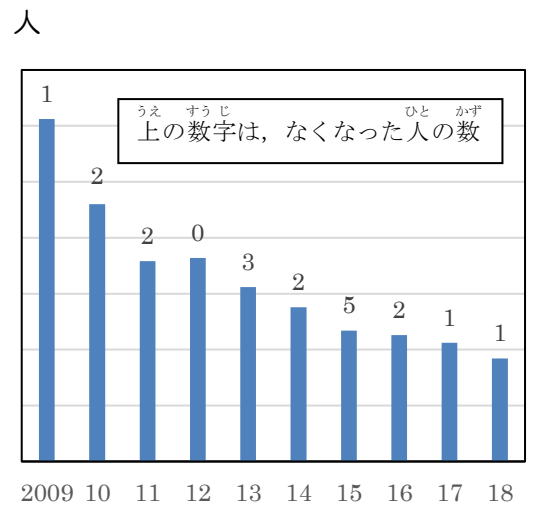
「イのグラフを見ると、事故の件数^{けんすう}がだんだんと、へってきていることがわかるよ。」

「2015年の事故の数は、2009年の半分よりもずっと少なくなっているんだな。」

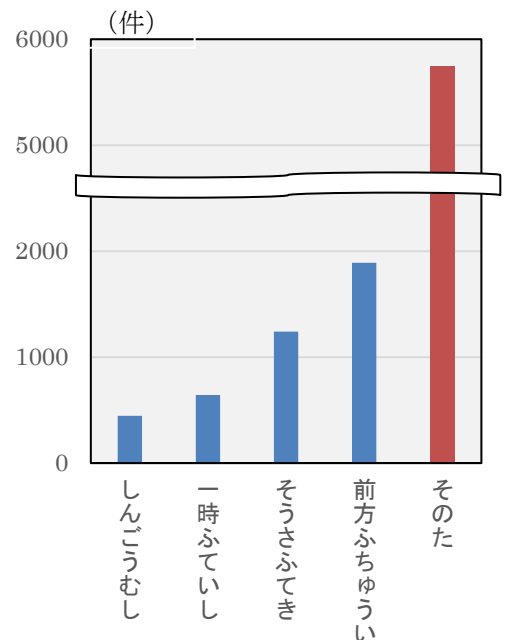
「ウのグラフを見ると、事故でけがをした人の数がへってきているといえるね。」

「交通事故の件数がへってきたのは、何か^{げんいん}原因があるのかな。」

「交通事故をふせぐには、どうしたらいいのだろう。」



ウ 患庭市で起きた交通事故でけがをしたり、なくなったりした人の数
(千歳けいさつしよ)



エ 北海道内の交通事故の主な原因
(北海道けいさつ)

次につなげよう

市では、交通事故がたくさん起きているんだね。事故や事件からまちを守るしくみについて考えていこう。

この時間の問い

がくしゅうもんだい

学習問題をつくり、学習の見通しを立てよう

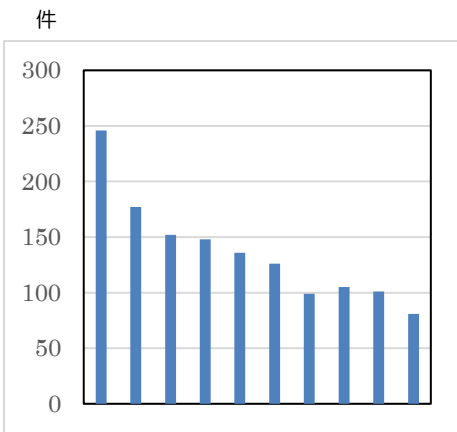
事故や事件から
まちを守るしくみを
調べるには、
どうすればよだろう。

けいたさんたちは、自分たちの市で起きた交通事
の件数や、事故でけがをしたり、なくなったりした
人の数のグラフを見て、気づいたことやぎもんに思っ
たことを話し合いました。そして、話し合ったこと
をもとに、学習問題をつくりました。

活動

気づいたことや
考えたことから、
学習問題をつくらう。

学習問題について
学習計画を話し合おう。



2009 10 11 12 13 14 15 16 17 18
平成21年 (平成30)

患庭市で起きた交通事故の件数



交通事故だけでなく、
市ではさまざまな事
件が起きているよ。



けいさつの方は、110
番のれんらくがあれば、
すぐにかかけつけて
くれるはずだ。



学校の安全教室やパ
トロールなどでも、け
いさつの人を、見か
けたことがある
ね。



火事の時と同じよう
に、地いきのいろい
ろな人が協力してい
ると思う。



みんなで作った学習問題

けいさつしょや地いきの人たちは、交通事故をふせ
ぐために、どのようなことをしているのだろう。

調べること

学校のまわりの道路の様子や、交通事故をふせぐためのしせつを調べる。
交通事故をふせぐための、けいさつしょの仕事^{しごと}を調べる。
地いきで行われている、事故をふせぐための取り組み^とを調べる。

調べる

学習問題をかいつくすために、地いきを歩いたり、しせつを見学したり、人から話を聞いたりして、調べよう。

ポイント

- 何について調べるのか、どんな話を聞きたいのか、前もってノートやメモに書いておく。
- 調べたり、話を聞いたりしながら、大切だと思ったこと、ぎもんに思ったことをメモする。
- 地いきを調べる時には、気づいたことを地図に書きこむ。
- 気になる場所の^{ぼしよ}写真^{しゃしん}をとる。

まとめる・ひろげる

調べてわかったことや、考えたことを^{せいり}整理して、学習問題をかいつくしよう。
そして、学習したことをいろいろな方法^{ほうほう}で^{あらわ}表して、^{こうりゅう}交流しよう。

^{つうがくろ}通学路^{おうだん}の横断歩道をわたるとき、けいさつ^{まも}の人のほかに見守ってくれる人がいるよ。



学校のまわりで、交通安全のためのしせつやくふうを、さがしてみようかな。

何か、事故や事件が起きないように取り組みを、みんなでしているんじゃないかな。



けいさつの人に 110 番の電話のしくみを聞いてみよう。
きっと、119 番と同じようなかわりがあると思う。

ポイント

- 調べたことを整理して、ノートなどに書き表す。
 - ・わかったことと、考えたことを、分けて書く。
- わかったことや、考えたことを話し合う。
 - ・自分の考えを話す時は、なぜそう考えたのかを^{つた}伝える。
- 友だちや^{ほか}他の人の考えをよく聞く。
 - ・自分の考えと同じところや、ちがうところはどこか。
 - ・友だちや他の人の考えを聞いて、自分はどう思ったか。

次につなげよう

みんなで学習問題と学習計画をたしかめたよ。
さっそく、学校のまわりのしせつについて調べよう。



交通量の多い道路には、信号きがついているね。



ア 交通量の多い道路



イ 注意をよびかける表示と電柱ひょうしき板



見通しの悪い道路には、カーブミラーが立っていたよ。

ウ カーブミラー



エ スピーカーのついた歩行者用信号き



オ 自転車の歩道



カ おしボタン式信号

この時間の問い

学校のまわりを調べよう

交通事故をふせぐために、学校のまわりには、どのようなしせつがあるのだろう。

けいたさんたちは、学校のまわりを歩いて、道路の様子や、交通事故をふせぐためのしせつについて調べました。

かつどう活動

学校のまわりの、交通事故をふせぐためのしせつを調べよう。

しせつが、その場所にあるわけを考えよう。

考えたことを話し合おう。

目の不自由な人が、
安心して歩くこと
ができるね。



㊦ 点字ブロック



学校前の
歩道にある
マークだね。

㊧ おうだん横断歩道と自転車のためのひょうしき



「道路の様子や交通量りょうに合わせて、しせつをくふうしているんだね。」



「おしボタン式信号しきしんごうには二つしゅるいがあるね。身体からだの不自由ふじゆうな人のためのボタンがあるね。」



「自転車じてんしゃに乗っている人のためのひょうしきもあったね。自転車に乗るときにも交通ルールがあるんだね。」

まも守っているかな？自転車のきまり

1. 歩道は、歩行者のための道です。



このひょうしきがある歩道は、自転車で走ることができます。子どもやお年よりなどは、このひょうしきがなくても、歩道を自転車で走ることができます。

歩道を走るときには、車道よりをゆっくりすす進みます。

2. 交通ルールを守りましょう。

二人乗りは、やめます。

ならんで走るのはやめます。

まわりが暗くらくなったら、かならずライトをつけます。

信号やひょうしきの指示しじを守ります。

ヘルメットをしっかりとかぶります。

守っているか、チェックしてみよう。



㊨ ストップマーク

次つぎにつなげよう

あんぜん交通安全のためのしせつが

たくさんあったね。

次つぎに、けいさつしごとの仕事を

調べてみよう。

この時間の問い

交通事故をしょりしたり、ふせいだりするために、けいさつしょでは、どのような仕事をしているのだろう。

けいさつしょの仕事を調べよう

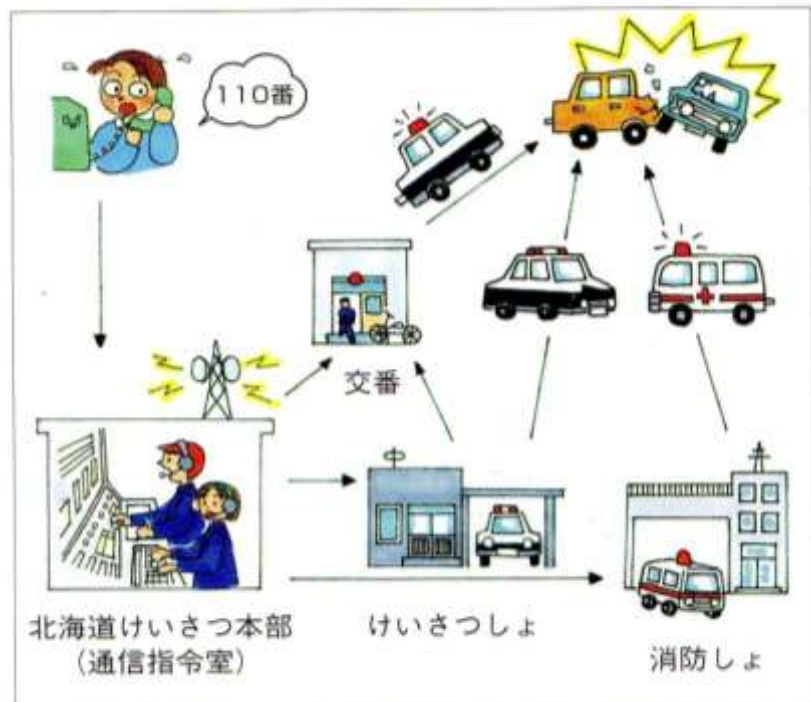
けいたさんたちは、交通事故が起きたとき、けいさつしょの人たちは、どのように事故をしょりするのか、110番のしくみを調べてみました。

「消防しょと同じように、すぐ現場にかけつけるしくみがあるんじゃないかな。」

かっどう活動

交通事故が起きたときのけいさつしょの仕事を調べよう。

交通事故をふせぐための、けいさつしょの仕事を調べよう。



ア 110番のしくみ

けいさつしょの人の話

恵庭でかけた110番の電話は、全て札幌にある北海道けいさつ本部の通信指令室につながります。通報を受けると、事故の現場に近い交番や、事故の現場の近くをパトロールしているけいさつかんにれんらくします。

パトカーは、すぐに現場にかけつけ、事故の現場の交通整理をしたり、事故車を道路のはしに動かしたりします。また、けが人がいるときには、消防しょにれんらくをして救急隊に来てもらい、けが人を救助します。

そして、事故の原因を明らかにするために、現場の様子を調べたり、事故を見た人から話を聞いたりします。交通事故のしょりは、速さが大切です。

つぎに、けいたさんたちは、交通事故をふせぐために、けいさつはどのような仕事をしているのか、調べることにしました。

交通管制センターでは、交通の安全のために、車両感知器やパトカーを使って道路の様子を調べ、情報板で情報を流しています。



ㄱ 交通管制センター



信号きや横断歩道などのしせつを整える仕事をしています。



キーワード

110番の通報

次につなげよう

交通事故のしよりは、速さが大事なんだね。けいさつのほかの仕事について調べてみよう。

交通事故をふせぐために、スピードいはんや駐車いはんの取りしまりなどを行って、交通のきまりを守ってもらおうようにしています。

この時間の問い

くらしの安全を守るけいさつの仕事

交番のけいさつかんは、地いきの安全を守るために、どのような仕事をしているのだろう。

けいたさんたちは、地いきにある交番をたずねて、どのような仕事をしているかインタビューしました。

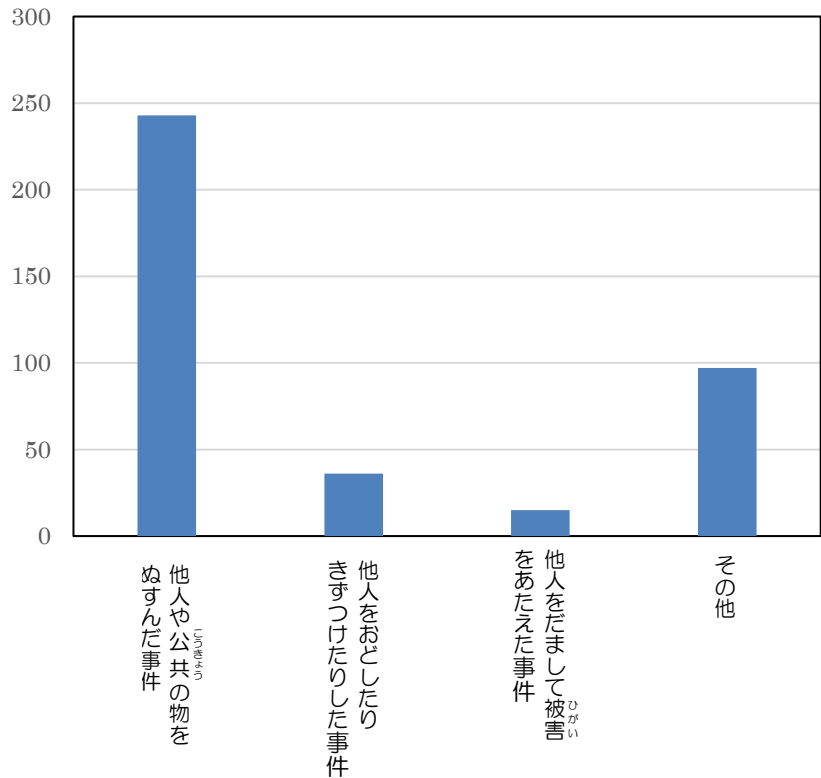
かつどう活動

交通事故のほか、どのような事件が起きているのかを調べよう。

交番のけいさつかんの仕事を調べよう。

けいさつの仕事は、地いきとどのようにかかわっているのか考えよう。

(件)



ア 恵庭市で起きた事件のしゅるい (2017年 千歳けいさつしよ)



イ 「いかにのすし」ポスター (提供：自然社)

けいさつしよの人の話

子どもをねらった事件をふせぐために、けいさつしよでは、「防犯教室」を行っています。そこでは、「いかにのすし」という言葉を使い、じっさいにくんれんなどを行って、事件にまきこまれないための方法を教えています。

さらに、携帯電話やインターネットを使ったトラブルもふえています。子どもたちが、そうしたトラブルにまきこまれないために、「非行防止教室」を行って、注意してほしいことを教えています。



← □ 恵庭市にある交番と駐在所

えにわ 恵庭市には、3か所の交番と
 1か所の駐在所ちゅうざいしよがあります。
 けいたさんたちは、近くの交番
 をたずねて、交通事故や事件を
 ふせぐためにどのような仕事
 をしているのかを、教えてもら
 いました。

交番のけいさつかんの話

わたしたち交番のけいさつかんは、2
 4時間、みなさんが安全あんしんに安心してくらせ
 るように仕事をしています。毎日交代こうたいでと
 まり、交通事故や事件が起きたときには、
 すぐにかかけられるようにしています。



□ 恵庭交番



地いきの安全を守る
 ために、昼も夜も
 パトロールをしています。

道にまよった人に、行き先を
 案内あんないしています。



このほかにも、地いきの家を
 たずねて、事故や事件をふせ
 ぐための協力きょうりょくをよびかけて
 います。

次につなげよう

事故や事件が起きないように、ふせ
 ぐことも大事だいじだね。次は、地いきの
 人たちの取り組みを調べよう。

交番のけいさつかんの話

わたしたちけいさつかんは、自分たちの仕事にほ
 こりを持ってはたらいしています。

地いきのみなさんが、交通事故や事件にあわな
 いようにと願いねがながら仕事をしています。

交通事故や事件をふせぐためには、けいさつと地
 いきとの協力きょうりょくはかかすことができません。



ア セーフティコールに参加^{さんか}する人たち

?この時間の問い

地いきの人たちは、
交通事故^{じこうじけん}や事件^{じけん}を
ふせぐために、
どのような取り組みを
しているのだろう。

地いきの人たちの取り組み^とを調べよう^{しら}

けいたさんたちは、交通事故や事件をふせぐ
ために、地いきの人たちがどのような取り組み
をしているのかを調べました。

かつどう 活動

地いきの人たちの、
交通事故や事件をふせぐ
取り組みを調べよう。

地域の安全^{あんぜん}を守るために、
どのような人たちが
協力^{きょうりやく}しているか
調べよう。

地いきの安全を
守るために、
自分たちができることを
話し合おう。

児童指導員^{じどうしどういん}の佐久間^{さくま}さんの話



セーフティコールは、1年に4回、1
回に200人もの人が参加^{さんか}しています。

ドライバーに、シートベルトの着用^{ちやくよう}や、安全運転^{うんでん}を
よびかけます。その他、安全会議^{あんぜんかいぎ}を開いて地いきの安
全^{あんぜん}について話し合ったり、自転車^{じてんしゃ}の乗り方のマナーを
よびかける活動^{かつどう}を行ったりしています。どの活動も、
町内会^{ちやうないかい}の人、けいさつしょの人、自衛隊^{じえいたい}の人などが協
力して行っています。

けいたさんたちは、地いきの人たちが協力し
て、事故や事件をふせごうとしていることを知
りました。

えにわ きょういく い いんかい
恵庭市教育委員会の方の話



恵庭市では、地いきの方と協力して、子どもたちの安全を見守る活動を行っています。子どもをねらった事件おが起りやすいのは、まわりから見えにくく、だれでも入れる場所ばしょです。みなさんも、きけんな目にあいそうになったら、近くの人、家や店などに助けたすを求めましょう。「こどもセーフティーハウス」などの表示ひょうじがあれば、特に安全とくです。

児童指導員の佐久間さんの話



げんざい
現在、地いきの小学生や中学生が安全に通学できるように、毎日1時間ほど通学路に立っています。

はじ
始めてから12年がたち、入学したばかりの小さかった子が、大きくなって中学校のせいふくきを着て元気に通学しているすがたを見ると、大きな成長せいちょうを感じ、うれしく思います。

私が立っている場所は交通りょう量も多く、いろいろと見なければならぬのでいそがしいですが、子どもたちの元気な通学のためにも、「笑顔と対話、今日も無事故むじこの合言葉」を大切にしながら、見守りつづを続けていきたいと思ひます。



㊦ こどもセーフティーハウス



㊧ こどもセーフティーハウスの表示



㊨ 通学路の安全を見守る地いきの人

キーワード

安全会議
こどもセーフティハウス

次につなげよう

安全のために、地いきの多くの人が協力するしくみがあるね。
学習がくしゅうをまとめるには、どうすればいいかな。



とうこう
「登校するときに、横断歩道おうだんのところで、はたもを持って、声をかけてくれる人がいるよ。」



つうがくる
「通学路の中に、『こどもセーフティーハウス』のステッカーがはってある店や家があったね。」

地いきのどのような所に
きけんな場所や、
安全な場所があるのだろう。

けいたさんたちは、事故や事件が起こりやす
い場所や、安全のためのしせつの場所などを調
べて、地いきの安全マップを作りました。そし
て、自分やまちの安全を守るためにできること
を話し合いました。

かつどう
活動

● 地いき安全マップをつくる
計画を立てよう。

● 事故や事件を
ふせぐ取り組みなど、
調べたことをふりかえり、
マップをつくろう。

● マップを見て、
地いきの安全を守るための
しくみや、取り組みを
まとめよう。



「学校のまわりには、交通事故をふせぐた
めのしせつがいくつもあったね。」



「事件が起こりやすいのは、まわりから見
えにくく、だれでも入れる場所だよ。」



「安全なようにみえる場所でも、注意を
して、きまりを守らないときけんだね。」



学びのてびき

地いき安全マップのつくり方

- ① 学んだことをふりかえりながら学校のまわりを歩く。
- ② どんな場所がきけんなのかをふりかえる。
- ③ きけんな場所、安全な場所の位置を地図に記入する。
- ④ きけんな場所、安全な場所をカードに書く。それぞれ色のちが
うカードに書き分けるとわかりやすい。
- ⑤ 白地図にカードをはる。



完成したマップを見ると、きけんな場所や安全な場所だけでなく、人々が協力して地いきの安全を守っているということもわかりました。

けいたさんたちがつくった地いき安全マップ

まとめる

キーワードに注目して学習をふり返ろう

交通ルール 110番のしくみ 安全会議 子どもセーフティハウス

①事故や事件をふせぐために、だれが、どのようなことを行っているでしょうか。

②事故や事件のない安全な地いきにするために、どのようなことが大切でしょうか。あなたの考えを、次の文にならって、ノートに書きましょう。

わたしは、_____が大切だと思います。なぜなら、_____。